

優秀賞

バトンのコンテスト

福井県 福井市啓蒙小学校三年 池田 実結

わたしは生まれたときから耳が聞こえません。だから小さいころに手じゅつをして、人工内耳をりょう耳につけています。そのおかげで、音は感じられるようになりました。でも、正しく聞こえているかは、わかりません。

わたしはバトンタワーリングを小学一年生から習っています。コーチにはロジャーというきかいをつけてもらったり、動きをつけてもらったりして、教えてもらっています。だからわかりやすく楽しいです。

バトンはみんなとおどる発表だけではなく、しんさいんにわざを見てもらうコンテストもあります。耳が聞こえにくくてリズムがなかなか合わせにくかったです。コーチとそうだんしてお母さんが指文字でカウントをして練習をいっしょにしてくれました。指文字を見たり、バトンを見たり、きよくを聞いたり、しじの声を聞いたり、やることがいっぱいです。

へんでした。本番もお母さんがしんさいんの後ろに立って、指文字でカウントをしてくれました。

コンテストは一人でえんぎを見せるから、とてもきんちようしました。それでもてい学年しよきゅうのいをとることができました。表しよう式で名前をよばれたときは、とてもうれしかったです。しかも、だい表でしよじようをもらって、たくさんはく手してもらえました。

表しよう式の後に福井県バトンきよう会の理事長の、おわりのあいさつがありました。そのときに、「感どうしたせん手がいたので、しよかいします。」

と言って、またわたしの名前がよばれました。耳が聞こえにくいことやリズムもたくさん練習したから、本番でいごとれたことを言っていました。わたしはいろいろほめられて、うれしかったです。耳が聞こえない子でもバトンができることをみんなが知っ

てくれたと思いました。お母さんのこともほめてくれました。お母さんを見るとなっていました。

バトンを始めてよかったです。バトンがもっともっと上手になって、いつか全国大会に出たいです。そのときにはなかなよしな友だちや小学校・ろう学校の先生やたくさんの人に見てもらいたいです。そのために、これからバトンの練習をがんばります。

